

News Release

2015年7月14日

株式会社 TREE

企業の共創的価値向上(CSV)と事業機会創出のためのサステナビリティ研修がスタート ～グローバル課題を映像で見ながら対話するワークショップ～

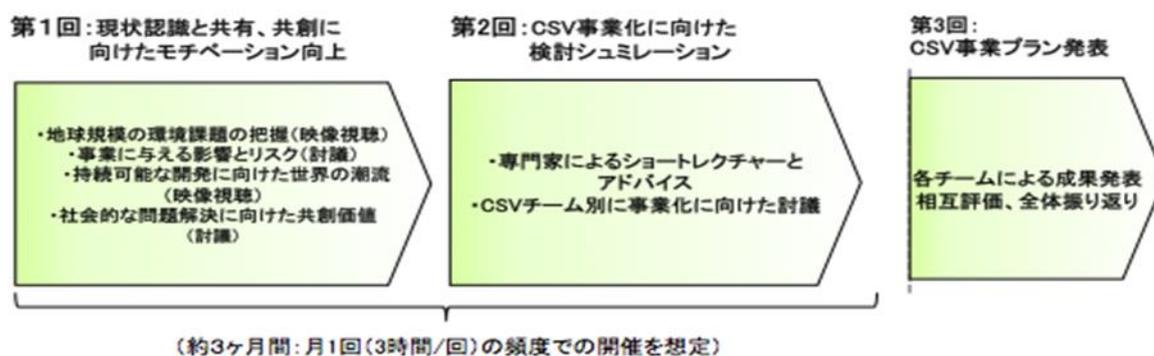
環境映像インターネットメディア*「Green TV JAPAN」を運営する株式会社 TREE（本社：横浜市 代表・水野雅弘）は、企業の共創的価値向上（**CSV）と事業機会の創出を担う人材育成に主眼を置いた企業研修事業をスタートします。環境・社会面でのサステナビリティ（持続可能性）が経営課題としてクローズアップされ始める中、グローバル課題を映像で見ながら対話するワークショップ型の研修を通じて、ステークホルダーと協働しながら新たな事業機会を創出できるサステナビリティ経営人材の養成ニーズに応じて参ります。

*Green TV JAPAN：英国発の環境映像インターネットメディアで、世界4カ国（英国、ドイツ、オーストラリア、日本）で運営。気候変動や生物多様性、エネルギー・食糧問題など、グローバル環境に関わるテーマを映像で伝えています。<http://www.japangreen.tv/>

**CSV：Creating Shared Value の略。米ハーバード大学教授のマイケル・E・ポーター氏らが提唱した概念で、社会的課題の解決に資する事業を行うことで、企業の競争力向上を実現する必要性を説いている。

同研修では、Green TV JAPAN が保有する 1100 本を超えるグローバル環境映像から気候変動、生物多様性、エネルギー、食糧などのグローバル課題に即した映像を使用。社員の皆さまに視聴いただくことで、地球規模の環境・社会課題への気づきを促します。その上で、自社の技術や商品・サービスを通じてこうした課題の解決にもつながる新たな事業を創出できる力を、ファシリテーターによる導きの下でのグループワークを通じて養うものです。文字情報に比べて伝達力が高いとされる映像を用いることで、社員の皆さんの感性に働きかけ、事業に対する見識とモチベーションの向上に寄与します。

<サステナビリティ研修推進例>



気候変動、生物多様性、エネルギー、食糧などのグローバル課題が、企業の事業継続リスクを高める傾向は、年を追うごとに増えています。その一方で、CSV（共創的価値の創出）やBOPビジネス（途上国の低所得層を対象とした事業創出）に象徴されるように、地球規模の諸課題を多様なステークホルダーと連携しながらビジネス機会につなげようとする機運もますます高まっています。折しも、金融庁と東京証券取引所が策定したコーポレート・ガバナンス・コードが6月1日付で発効され、上場企業を中心に更なるCSR（企業の社会的責任）の充実が求められることとなり、その担い手となる経営幹部やその候補生となる社員の育成が急務となっています。

<ご参考>

『「企業2020」の世界—未来をつくるリーダーシップ』（日本経済新聞市出版社）の著者でもあり、サステナビリティ志向のこれからの社会における企業のあり方について提言してきたパヴァン・スクデフさんのメッセージを、弊社が運営するGreen TV JAPANで公開しています。<http://www.japangreen.tv/ch08economy/12830.html>

株式会社TREEは、大手企業のCSR活動発信映像の制作や再生可能エネルギーをテーマとした地域人材育成講座を手がけてきた実績も生かして、社員の皆さんの集合知を生み出しながら事業開発につなげる双方向型の研修をプロデュースして参ります。

費用は、3回のワークショップのパッケージで120万円から（税別）。業種業態に応じて、テーマに沿った映像を選定、研修内容を設計させていただきます。見積り等につきましては、下記にお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】株式会社TREE

231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター10階
電話：045-227-8828（担当：長谷川、木村） Email：info@tree.vc